

特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成19年4~6月)のポイント

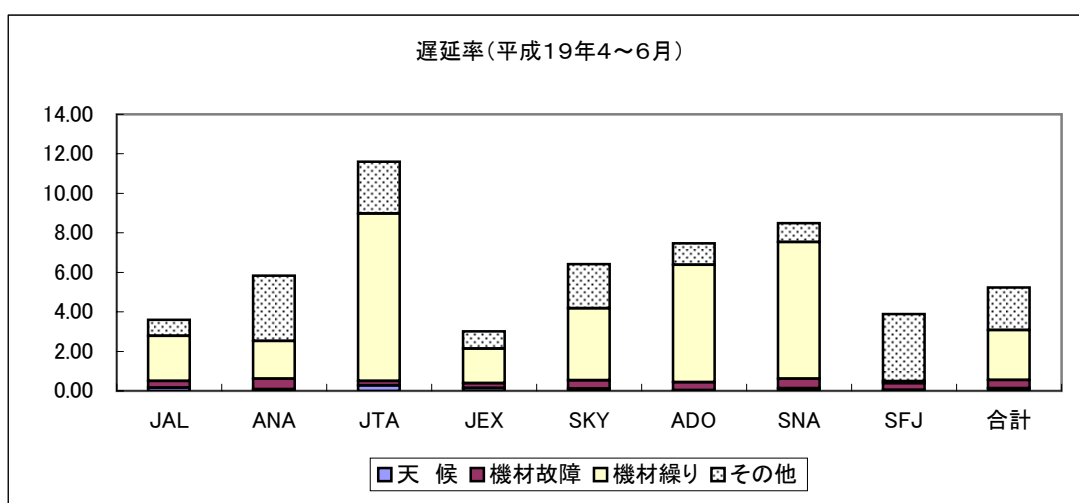
※日本航空(日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空、ジャルエクスプレス、スカイマーク、北海道国際航空、スカイネットアジア航空及びビスターフライヤー

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成19年4月~6月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
5.23%	6.92%	1.69ポイント減少

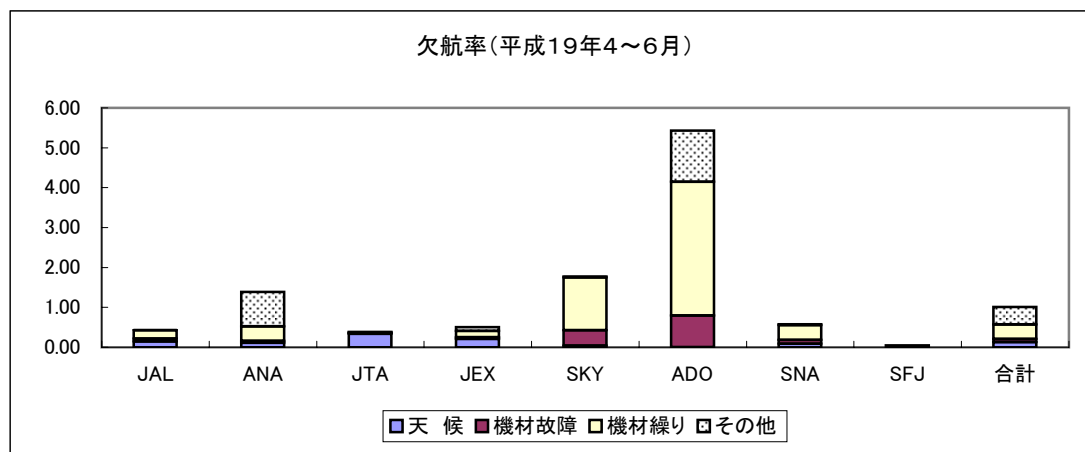
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成19年4月~6月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
1.01%	1.01%	増減なし



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成19年4月～6月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	892Km	888km	0.5%増
輸送人員	2192万0926人	2233万6566人	1.9%減
輸送人キロ	195億5189万人キロ	198億4074万人キロ	1.5%減
旅客収入	3353億29百万円	3234億81百万円	3.7%増
輸送人員あたり 旅客収入	15.3千円	14.5千円	5.5%増
輸送人キロあたり 旅客収入	17.2円	16.3円	5.5%増

(2) 路線別データ(平成19年4月～6月)

① 旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	217万4777人
2位 東京＝福岡	191万6439人
3位 東京＝大阪	147万2764人
4位 東京＝那覇	111万1080人
5位 東京＝広島	56万4669人
全路線	2187万7651人

② 利用率

上位5路線は次のとおり。

下位5路線は次のとおり。

1位 大阪＝那覇	85.2%	1位 新潟＝神戸	14.4%
2位 関西＝石垣	81.1%	2位 札幌＝中標津	20.8%
3位 広島＝那覇	80.9%	3位 大島＝八丈島	23.0%
4位 成田＝大阪	79.1%	4位 札幌＝稚内	23.8%
5位 那覇＝小松	78.7%	5位 関西＝高知	26.5%
全路線	60.3%	全路線	60.3%

3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成19年4～6月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

(※)オーバーセールズ(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	北海道国際航空	0.23人	0.00人
②	全日本空輸	0.09人	0.11人
③	日本トランスオーシャン航空	0.02人	0.00人
	全社平均	0.05人	0.05人